

資料2-2

令和4年1月28日(金)
第74回総会資料

河川清掃の改善の 具体的な取り組み及び 各主体の役割について

佐賀市
建設部
河川砂防課

具体的な取り組みについて

佐賀市の河川清掃の参加者は、ここ数年減少傾向にあり、さらに参加者の高齢化が大きな課題となっています。

高齢化が進む地域では、特に水の中に入って行う水草の除草や浚渫などの作業が難しくなったという声が多く聞かれるようになり、さらに、地域の河川清掃だけでは行き届かない河川・水路が増えたことにより、市で対応するケースも多くなっています。

このように、多くの地域では、河川清掃などに携わるマンパワーの不足が大きな課題となっています。

また、市民主体の河川清掃は、地域のことは地域で取り組むという意識を持って参加する市民の力で約40年も続く取り組みとなっています。しかし、その一方では、なぜ河川清掃を市民がしなければならないのか、行政の役割ではないのかといった声も多く聞かれるようになりました。

このような多様な市民意識の中で、市民の川や水に対する関心の低下や河川清掃に対するモチベーションの低下を指摘する声もあり、河川清掃への動機付けも大きな課題となっています。

そこで、市民主体の河川清掃が将来に渡って持続可能なものとなることを目指して、河川清掃への動機付けを図りながら、マンパワーの不足の解消図っていくための取り組みを展開します。

また、具体的な取り組みの実現に向けては、短期、中期、長期といった時間軸の中で、その時々を経済状況や社会状況をみながら、緊急性や必要性等を踏まえ、実現可能なものから取り組んでいくこととします。

課題 マンパワーの不足

- (1) 以前はできていた清掃作業が難しくなった。
- (2) 協力を求めたい地域の思いと社会貢献をしたい企業等の思いが上手く合致していない。
- (3) 人集めが上手くいっている地域のノウハウ等が共有できていない。
- (4) 人口減を背景にした河川清掃活動における佐賀市の役割が整理できていない。
- (5) 地域外の活力がうまく呼び込めていない。

課題 河川清掃参加へのモチベーションの低下

- (1) 多様な考え方の中で、河川清掃参加に繋がる動機付けが弱い。

マンパワーの不足に対する 具体的な取り組み

課題 マンパワーの不足

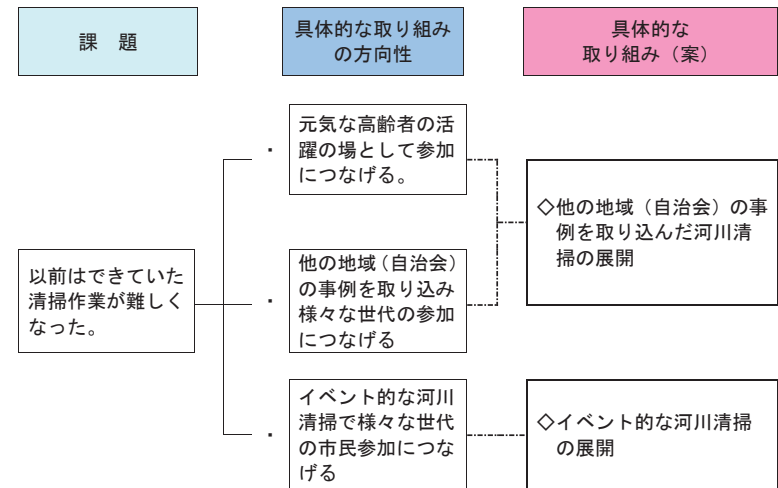
(1) 以前はできていた清掃作業が難しくなった。

現況・課題

- ・特に川の中に入って行うような清掃作業が難しくなっている。
- ・市民だけでは清掃できない箇所が年々多くなっている。(市民でできる河川清掃の範囲や内容が変わった)
- ・若い人の参加が少なく、河川清掃が次の世代に受け継がれなくなる。

取り組みの方向性

清掃参加者のマンパワーが足りず、例えば川の中に入っての作業などが難しくなっているというような現状を踏まえ、様々な世代が河川清掃活動に関わっていくような取り組みを検討する。



課 題	マンパワーの不足
	(1) 以前はできていた清掃作業が難しくなった。

具体的な取り組みの方向性 **元気な高齢者の活躍の場として参加につなげる。他の地域（自治会）の事例を取り込み様々な世代の参加につなげる**

河川清掃に多様な世代が参加しているような地域の事例を収集し、情報の共有を図り、地域の活用につなげる。

具体的な取り組み（案）	
他の地域（自治会）の事例を取り込んだ河川清掃の展開	
	地域（自治会）において、河川清掃に多様な世代が参加している事例を収集・発信し、各地域の河川清掃の改善に向けて活用を図る。

各主体の役割（取り組みイメージ）

【地域（自治会）】
他の地域（自治会）の事例を活用した河川清掃を展開
<p>○河川清掃への多様な世代の参加が上手くいっている地域（自治会）はノウハウ等の情報を提供する。</p> <p>《多様な世代が参加している地域（自治会）の取り組みの例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例えば、北川副校区・川上校区では、防災訓練、炊き出し訓練、説明会など他の地域行事と合わせて、河川清掃に取り組みされており、そのことで多様な世代の参加がある。 ・若楠校区では、河川清掃、草むしり及び防災訓練を合わせた活動を行うことにより、参加人数を増やそうとしている。 ・若楠校区では、メンズクラブという地域の高齢者有志による組織を作られて河川清掃等の活動をされている。 <p>○河川清掃の参加者数に困っている地域（自治会）は他の地域（自治会）の事例を参考に河川清掃のやり方の改善を検討する。</p>

【佐賀市】
地域（自治会）の活動事例の収集・整理・共有
<p>○地域（自治会）の活用を想定した事例収集のポイントを整理し、多様な世代が参加している地域（自治会）の取り組み事例を収集・発信する。</p> <p>○水対策市民会議と共に地域（自治会）から提供された事例（ノウハウ等の情報）を事例集のような形でまとめる。</p>

【水対策市民会議】
地域（自治会）の活動事例の整理・共有
<p>○市（事務局）と共に地域（自治会）での活用を想定した事例収集のポイントについて整理を図る。</p> <p>○市（事務局）と共に地域（自治会）から提供された事例（ノウハウ等の情報）を事例集のような形でまとめる。</p>

取り組み中	改 善	新 規
-------	-----	------------

取り組み時期	短期	中期	長期
	○		

課 題	マンパワーの不足
	(1) 以前はできていた清掃作業が難しくなった。

具体的な取り組みの方向性 **イベント的な河川清掃で様々な世代の市民参加につなげる**

地域との関わりが少ない市民に向けて、イベント的な河川清掃を企画し、まずは、河川清掃に慣れてもらうことから始め、少しずつ地域の河川清掃の参加につなげていく。

具体的な取り組み（案）

イベント的な河川清掃の展開

特に地域との関わりが少ない市民を意識しつつ、幅広く多様な世代の市民参加を想定した公益性の高い河川清掃のイベントを展開する。

各主体の役割（取り組みイメージ）

【佐賀市】
民間企画の公益的な河川清掃イベント等への支援・協力
<ul style="list-style-type: none"> ○民間の自主的な企画による公益的な河川清掃のイベント等の支援・協力を図るため、対象基準等を定め、広報や道具貸出、ゴミ回収などの支援・協力のルール化を検討する。 ○支援・協力の条件として河川清掃を通じて川にゴミを捨てない意識を啓蒙する工夫の要請等も検討する。 <p>《支援・協力の検討案》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援の目的や対象、役割・責任区分の整理など役割分担の整理を図る。 ・助成金情報の提供、名義後援、周知協力、道具貸出、ゴミ回収など民間の公益的な河川清掃のイベントをサポートする内容を検討する。 ・イベント参加者に対し地域の河川清掃への参加を促すことを支援・協力の条件の一つに盛り込むことも検討する。 ・異世代間や同世代間の交流が図られるような仕掛けを企画に盛り込むよう促す。

【水対策市民会議】

委員の所属団体内での周知の協力

- 民間企画の公益的な河川清掃イベントの参加者募集に係る委員の所属団体内への周知等に協力する。
- 委員の所属団体においても広く市民を対象にした公益的な河川清掃イベントを検討する。

【市民活動団体】

公益的な河川清掃イベントの検討

- 市民活動団体の柔軟な発想による自主的な活動として、幅広く多様な世代の市民参加を想定した公益的な河川清掃イベントを検討する。
- ※異世代間や同世代間の交流が図られるような仕掛けも検討する。
- ※河川清掃を通じて川にゴミを捨てない意識を啓蒙する工夫も検討する。

【企業等】

公益的な河川清掃イベントの検討

- 企業等の社会貢献的な活動として、幅広く多様な世代の市民参加を想定した公益的な河川清掃イベントを検討する。
- ※異世代間や同世代間の交流が図られるような仕掛けも検討する。
- ※河川清掃を通じて川にゴミを捨てない意識を啓蒙する工夫も検討する。

《企業等の清掃イベントの取り組み事例》

「TOYOTA SOCIAL FES!!2018」
佐賀新聞社が行った裏十間堀川の河川清掃活動。親子企画で松原川での水生生物観察も実施

「TOYOTA SOCIAL FES!!2019」
佐賀新聞社が行った松原川の清掃活動。

「FACT CLEAN SAGA」
サガテレビが環境キャンペーンの一環として行っている有明海沿岸の清掃活動

取り組み中	改 善	新 規
-------	-----	-----

取り組み時期	短期	中期	長期
	○		

課題 マンパワーの不足

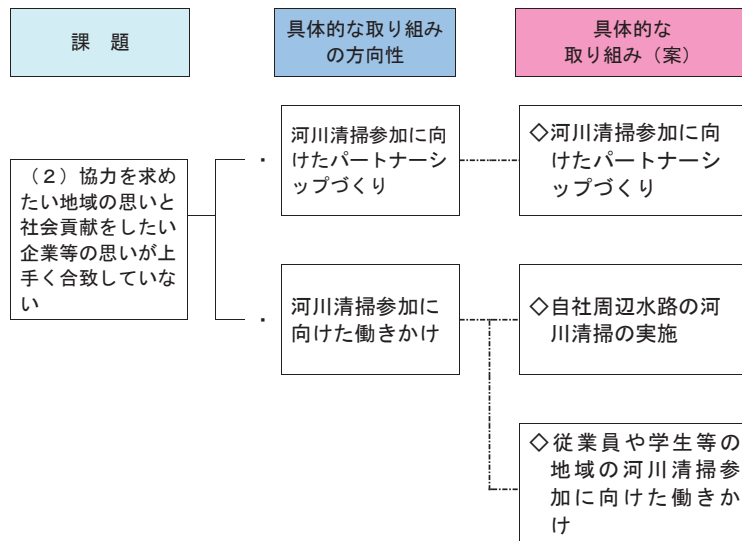
(2) 協力を求めたい地域の思いと社会貢献をしたい企業等の思いが上手く合致していない。

現況・課題

企業等にも協力を求めたいと思う地域の思いと社会貢献をしたいと思う企業等との思いが上手く合致していない。

取組の方向性

河川清掃等への強制性がないように留意しながら、企業等や学校等に対し、「社会貢献活動としての河川清掃への参加、関り方」を促す取組を検討する。



課題	マンパワーの不足 (2) 協力を求めたい地域の思いと社会貢献をしたい企業等の思いが上手く合致していない。
----	---

具体的な取組の方向性 河川清掃参加に向けたパートナーシップづくり

河川清掃参加のモチベーションが上がるような仕組みを検討しながら、企業等と行政(市)、企業等と地域(自治会)のパートナーシップの構築を図る。

具体的な取組(案)

河川清掃参加に向けたパートナーシップづくり

河川清掃への多様な主体の参加を目指し、各主体間の良好な関係をつくるための取組を検討する。併せて、河川清掃参加のモチベーションの向上につながるよう、既存の表彰制度や成果の周知(事例の共有)などの改善を検討する。

各主体の役割(取組イメージ)

【地域(自治会)】

地域内企業等の河川清掃活動を周知

◇地域内の企業等の河川清掃の取組を地域の情報媒体を使って住民に周知することを検討する。

【佐賀市】

企業等とのパートナーシップづくり

◇ゆるやかな会員組織のような形で、会員企業等の表彰や成果の周知(事例の共有)などの取組の改善を検討する。

〈パートナーシップや表彰等の取組案〉

- ・「まなざし運動」や「佐賀市男女共同参画」等の市内企業等とのパートナーシップの事例を参考に、企業等との関わり方や表彰制度を検討する
- ・先進事例を確認しながら、地域、企業、学校など河川清掃に関わる多様な主体の活動成果の周知方法等の改善を図る。

【佐賀市】（続き）	
表彰制度の改善	<ul style="list-style-type: none"> ○先進事例を確認しながら企業等を含めた表彰制度の改善を水対策市民会議の議論を踏まえて検討する。 ○表彰された活動成果の周知方法等の改善を図る。
活動実績に対する表彰	<ul style="list-style-type: none"> ○表彰制度の改善の結果を持って、水対策市民会議と共に企業等の河川清掃の取り組みの表彰を行う。

【水対策市民会議】	
表彰制度の改善	<ul style="list-style-type: none"> ○先進事例を確認しながら企業等を含めた表彰制度の改善を市（事務局）と共に検討する。
活動実績に対する表彰	<ul style="list-style-type: none"> ○表彰制度の改善の結果を持って、市と共に企業等の河川清掃の取り組みの表彰を行う。

【企業等】	
企業等と地域（自治会）のパートナーシップづくり	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の河川清掃活動にできる範囲の協力を検討する。 <p>《地域の河川清掃に対する企業等の協力案》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会社所在地の自治会の河川清掃への従業員等の参加 ・企業等が所有する機器等を使った協力 ・地域の河川清掃で出たゴミの仮置き場として敷地等の一時使用の協力 など

取り組み中	改 善	新 規
-------	------------	-----

取り組み時期	短期	中期	長期
	○		

課 題	マンパワーの不足 (2)協力を求めたい地域の思いと社会貢献をしたい企業等の思いが上手く合致していない。
-----	--

具体的な取り組みの方向性
<p>企業等や学校の地域貢献活動として自主的な「河川清掃」の取り組みが進むよう地域（自治会）と市が働きかける。あわせて、従業員等が居住地域の河川清掃に参加するような社内等での促しも働きかける。</p>

具体的な取り組み（案）
<p>自社周辺水路の河川清掃の取り組み</p> <p>企業等や学校の地域貢献活動の一環として、自社や自校の周辺水路の河川清掃に取り組む。</p> <p>従業員や学生等の地域の河川清掃参加に向けた働きかけ</p> <p>企業等の従業員や学校の学生等が地域の河川清掃に参加するよう社内や校内で働きかける</p>

各主体の役割（取り組みイメージ）	
【地域（自治会）】	<p>企業・学校等への河川清掃参加の働きかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校、企業等に河川清掃参加を働きかけている地域（自治会）は、引き続き文書通知や訪問等による働きかけを行う。 ○これまで学校、企業等に参加を働きかけていない地域（自治会）は、地域の状況を踏まえた対応を検討する。 ○地域（自治会）は、子ども達（児童・生徒・学生）が地域の河川清掃の中で活動できる場や役割を検討する。 <p>《地域（自治会）から企業への働きかけの例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会から企業等にチラシを持って訪問する。こぞって参加してくださいではなく、一人でも二人でも、三人でもいいから参加を促す。そこから始める。 ・地域のリーダーが企業等に呼びかけた分だけ広がりが増していき、逆に呼びかけないと徐々に縮小する。 <p>《児童・生徒・学生に対する河川清掃参加の案》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生は、保護者や清掃活動に参加してもらい、地域の方と一緒に川に入るのではなく、その活動をサポートするような役割を企画する。

【佐賀市】
企業等・学校への河川清掃参加の働きかけ（訪問）
<p>○対象企業等・学校を整理し、文書通知や訪問により、企業等、学校の地域貢献活動の一環として自社周辺水路の清掃を働きかける。</p> <p>○企業等・学校の従業員や学生等が地域の河川清掃に参加するような社内や学内への働きかけの協力を文書通知や訪問により依頼する。</p> <p>※訪問先の学校は、高等学校、大学、専修学校を想定</p>
市職員によるボランティア清掃の改善
○佐賀市の率先行動として、既存の職員ボランティア清掃について、他の企業等と同様に、自社周辺水路（市の施設周辺水路）の清掃への改善を検討する。

【水対策市民会議】
企業等・学校への河川清掃参加の働きかけ（文書通知）
<p>○文書通知により、企業等、学校の地域貢献活動の一環として自社周辺水路の清掃を市（事務局）と共に働きかける。</p> <p>○文書通知※により、企業等、学校の従業員や学生等が地域の河川清掃に参加するような社内や学内への働きかけについて、市（事務局）と共に協力を依頼する。</p> <p>≪文書通知による依頼の内容≫ 市立の小・中学校に対しては、文書通知により、「川を愛する週間のポスター」の校内掲示や児童・生徒の河川清掃への参加を促す校内放送を依頼している。</p>

【企業等】
自社周辺水路の清掃の企画・実践
<p>○自社周辺水路の清掃を企画し、継続して実施する。 ※日程調整等が可能であれば、自社所在地の自治会と協働で河川を清掃することも検討する。</p> <p>○これまで河川清掃を実施したことのない企業等は、自社周辺水路の清掃を検討する。</p> <p>○実績等の市への報告に協力する。</p>

【企業等】（続き）
居住地域の河川清掃活動参加に向けた従業員等への働きかけ
<p>○従業員に対し、居住地域の河川清掃活動への参加を働きかける取り組みを検討する。</p> <p>≪従業員等に対する河川清掃参加の呼びかけの取り組みの案≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川を愛する週間の開始に合わせ、社内メール等を活用して、地域の河川清掃活動への参加を従業員へ働きかける。 ・社内での川を愛する週間のチラシを掲示して、社内での気運の醸成を図る。

【学校等】
自校周辺水路の清掃の企画・実践
<p>○自校周辺水路の清掃を企画し、継続して実施する。 ※日程調整等が可能であれば、学校所在地の地域（自治会）と協働で河川を清掃することも検討する。</p> <p>○これまで河川清掃を実施したことのない学校等は、自校周辺水路の清掃を検討する。</p> <p>○実績等の市への報告に協力する。</p> <p>≪学校等の河川清掃参加の取り組み案≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校は、児童・生徒の学年や体格等を踏まえ、河川清掃で活動できる場や役割を検討する。 ・学校（クラブ、サークル単位等を含む）により河川清掃に参加する ・地域の河川清掃で出たゴミの仮置き場として敷地等の一時使用を協力する。
河川清掃活動の参加に向けた働きかけ
<p>○市立の小・中学校においては、児童・生徒対し川を愛する期間中の校内放送により、河川清掃の参加を促す取り組みを行う。</p> <p>○市立の小・中学校においては、校内に「川を愛する週間のポスター」を掲示して、気運の醸成を図る。</p>

取り組み中	改 善	新 規
-------	------------	-----

取り組み時期	短期	中期	長期
	○		

課題 マンパワーの不足

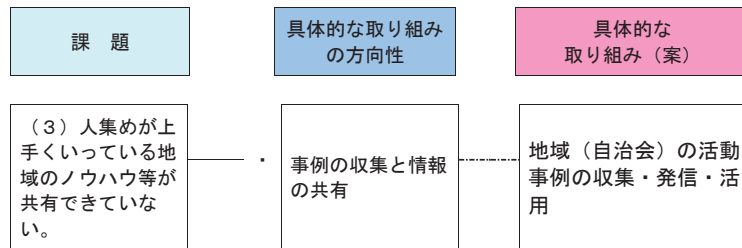
(3) 人集めが上手くいっている地域のノウハウ等が共有できていない。

現況・課題

地域では、人集めが上手くいっているところと困っているところがあるが、上手くいっている地域のノウハウ等を共有できるような環境が整っていない。

取組の方向性

河川清掃における人集めの成功事例の情報の共有を図り、各地域で活動の参考にしよう。



課題	マンパワーの不足 (3) 人集めが上手くいっている地域のノウハウ等が共有できていない。
----	--

具体的な取組み 事例の収集と情報の共有の方向性

地域(自治会)の参考となるよう、人集め等で上手くいっている事例を収集し、これらの情報の共有化を図る。

具体的な取組み(案)

地域(自治会)の活動事例の収集・発信・活用

人集めが上手くいっている地域(自治会)の事例を収集し、これらの情報の共有化を図ることで、地域の清掃活動に役立ててもらおう。
また、河川清掃の取組みを次の世代につなげていくため、子ども達にもできることを検討する。

各主体の役割(取組みイメージ)

【地域(自治会)】
他の地域(自治会)の事例を活用した河川清掃の改善 (再掲)
<ul style="list-style-type: none"> ○河川清掃に多様な世代の参加が上手くいっている地域(自治会)はノウハウ等の情報を提供する。 ○子ども達ができることを検討する。 <p>≪多様な世代が参加している地域の取組みの例≫</p> <p>【住民周知の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例えば、蓮池校区では、河川清掃の情報を地域の集まり(三夜待)で伝えたり、LINEを使って伝えている地区もある。 <p>【子ども達の関り方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例えば、久保田校区では、自治会で小学校高学年や中学生の参加に対し、年齢に即した清掃作業の内容を分類して実践されている。 ・川や水路のゴミの現状を見せ、大人が河川清掃をしている姿を見せることも大事になる。 ・河川清掃の時に川や水路に入らせるのではなく周辺のごみ拾いなどが考えられる。 <p>○河川清掃の参加者数に困っている地域(自治会)は他の地域(自治会)の事例を参考に河川清掃の改善を検討する。</p>

【佐賀市】
地域（自治会）の活動事例の収集・整理・共有 （再掲）
<ul style="list-style-type: none"> ○地域（自治会）の活用を想定した事例収集のポイントを整理し、多様な世代が参加している地域（自治会）の取り組み事例を収集・発信する。 ○水対策市民会議と共に地域（自治会）から提供された事例（ノウハウ等の情報）を事例集のような形でまとめる。

【水対策市民会議】
地域（自治会）の活動事例の整理・共有 （再掲）
<ul style="list-style-type: none"> ○市（事務局）と共に地域（自治会）での活用を想定した事例収集のポイントについて整理を図る。 ○市（事務局）とと共に地域（自治会）から提供された事例（ノウハウ等の情報）を事例集のような形でまとめる。

取り組み中	改 善	新 規
-------	-----	------------

取り組み 時 期	短期	中期	長期
	○		

課 題 マンパワーの不足

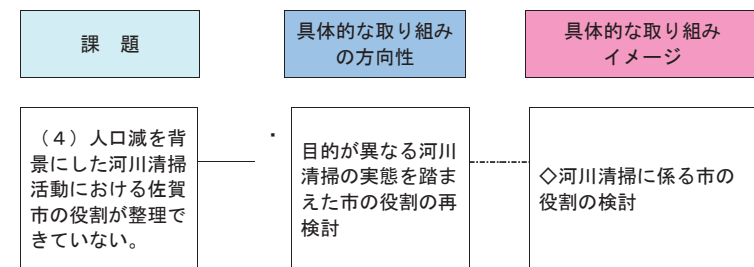
（４）人口減を背景にした河川清掃活動における佐賀市の役割が整理できていない。

現況・課題

行政（佐賀市）は、マンパワーの不足で市民で対応できなくなった河川・水路の維持について、市街地や農業地域等における施策等の違いを踏まえながら、公助でどこまでできるかを整理する必要がある。

取組の方向性

- ・自治会を中心とした河川清掃と農地保全を目的とした農業水路の清掃では、目的の違いから、行政の施策も異なるため、全ての地域で同じ対応をとることは難しい。
- ・市街地、農業地域など地域の清掃活動の違いを踏まえた市の役割を再検討する。



課 題	マンパワーの不足
	(4)人口減を背景にした河川清掃活動における佐賀市の役割が整理できていない。

具体的な取り組みの方向性 目的が異なる河川清掃の実態を踏まえた市の役割の再検討

市街地や農業地域など地域事情による施策の違いを前提としながら、庁内の関係部署で、行政（市）の役割を再検討する。

具体的な取り組み（案）
河川清掃に係る市の役割の検討
行政（市）内部で河川清掃に係る市の役割の再検討や河川・水路の維持のあり方を研究し、できることからすすめていく。

各主体の役割（取り組みイメージ）

【佐賀市】
河川清掃に係る市の役割の検討
<ul style="list-style-type: none"> ○関係部署間で河川清掃や水路維持の現状の共有を図り、共通する課題や施策の違いによる課題等を確認する。 ○現状を踏まえながら、河川清掃に係る市の役割の再検討を行う。 ○河川清掃の担い手不足を視野に入れた河川・水路の維持のあり方を研究する。

取り組み中	改 善	新 規	
取り組み時期	短期	中期	長期
	○		

課 題 マンパワーの不足

(5) 地域外の活力がうまく呼び込めていない。

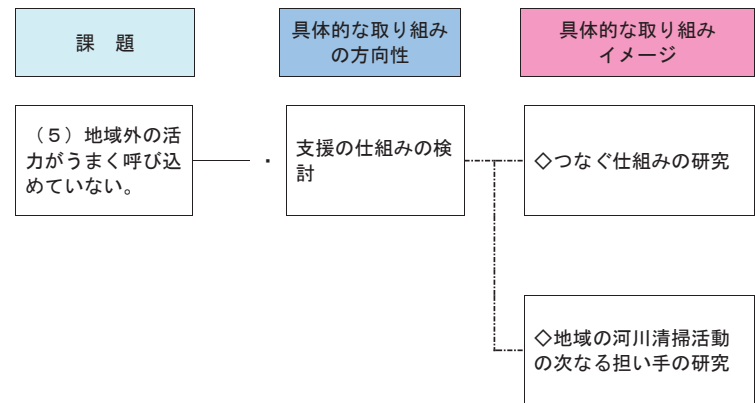
現況・課題

・地域差はあるが、高齢化の進展と人口の減少が進むと、自治会を中心とした河川清掃の実施が困難となる地域もでてくる。

・河川清掃を担うマンパワーは、地域外の人に頼らざるを得なくなるが、その力をうまく呼び込めていない。

取組の方向性

・河川清掃の担い手不足に対し、特に地域外のマンパワーを活用するための取り組みを検討する。



課 題	マンパワーの不足 (5) 地域外の活力がうまく呼び込めていない。
-----	-------------------------------------

具体的な 取り組み 支援の仕組みの検討 の方向性

地域外のマンパワーを「人」の確保がままならない地域に呼び込むべく、困っている地域と支援したい人材をつなぐような仕組みを検討する。

具体的な取り組み(案)
つなぐ仕組みの研究
市民活動団体等の民間の持つノウハウを活かし、困っている地域と支援したい人(企業等)をつなぐ仕組みを研究する。

各主体の役割(取り組みイメージ)

【佐賀市】
つなぐ仕組みの研究
○市民活動団体等の民間の持つノウハウを活かし、困っている地域と支援したい人をつなぐ仕組みを研究する。
≪考えられる検討案≫ ・NPO等の市民活動団体の活動実態を把握する。 ・運営の担い手のあり方を整理しながら、持続的な運用のための役割や困っている地域と支援したい人(企業等)をつなぐ仕組みを研究する。 ・制度に合わせた保障の仕組み(傷害保険や賠償保険)や情報発信等も研究する。

取り組み中	改 善	新 規
-------	-----	------------

取り組み時期	短期	中期	長期
			○

具体的な取り組み(案)
地域(自治会)の河川清掃活動の次なる担い手の研究
地域外のマンパワーとして、支援したい人(企業等)の確保の手法等を研究する。

各主体の役割(取り組みイメージ)

【佐賀市】
地域の河川清掃活動の次なる担い手の研究
○地域外のマンパワーを確保すべく、市内外の類似事例を参考にしながら佐賀市の実情を踏まえた支援の担い手の掘り起こしや育成などの手法を研究する。
≪考えられる検討案≫ ・NPO等の市民活動等の活動実態や企業等の活動実態を把握する。 ・支援に参加しやすい機運醸成のための手法を検討する。 ・講座等による人材育成を検討する。

取り組み中	改 善	新 規
-------	-----	------------

取り組み時期	短期	中期	長期
			○

河川清掃参加へのモチベーションの低下に対する具体的な取り組み

課題 河川清掃参加へのモチベーションの低下

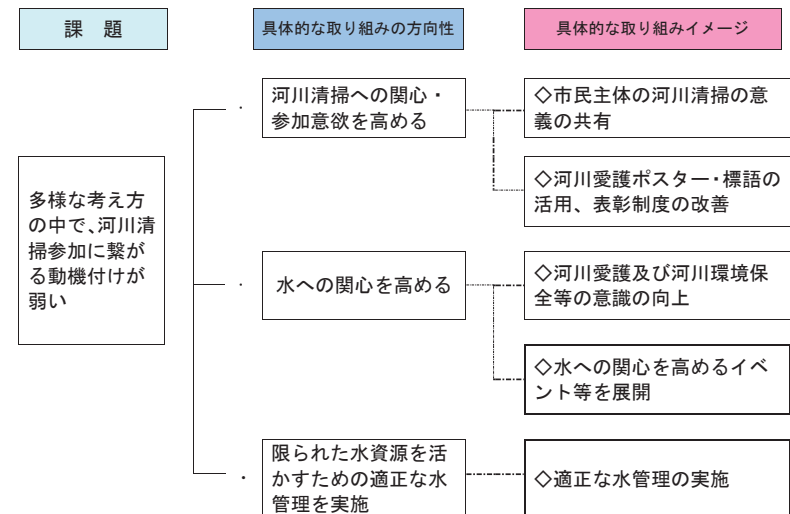
(1) 多様な考え方の中で、河川清掃参加に繋がる動機付けが弱い

現況・課題

- ・佐賀市の河川水路を市（行政）が単独で維持をすることは難しく市民の力が不可欠
- ・河川清掃に対する多様な考え方があることを踏まえた上で、河川清掃参加に繋がるような動機付けが必要
- ・参加者の減少は、市民の水への関心が低くなったことも要因の一つ
- ・水量の少なさもあって、河川清掃の成果が実感しにくいことから、市民の清掃意欲も低下している。

取組の方向性

市民主体の河川清掃の必要性などを再確認しながら、長期的な視点に立った水への関心を高めつつ、河川清掃への参加意識の醸成にもつながるような取り組みを検討する。



課題	河川清掃参加へのモチベーションの低下
	(1) 多様な考え方の中で、河川清掃参加に繋がる動機付けが弱い。

具体的な取り組み 河川清掃への関心・参加意欲を高めるの方向性

様々な場面で佐賀市の水環境や市民主体の河川清掃の意義の周知を図りながら、より多くの市民の注目を集めるべく、既存制度の周知方法等を改善し、市民主体の河川清掃活動への関心を高めていく。

具体的な取り組み(案)
市民主体の河川清掃の意義の共有
佐賀市の水環境や河川清掃の歴史、まちづくりの考え方を踏まえた市民主体の河川清掃の意義等を周知し、意識の共有を図る。

各主体の役割(取り組みイメージ)

【佐賀市】
市民主体の河川清掃の意義の整理と活用
<ul style="list-style-type: none"> ○水対策市民会議と共に河川清掃の歴史や市のまちづくりの考え方等を踏まえながら、河川清掃の意義を定型文など市民にわかりやすい形で整理する。 ○整理した河川清掃の意義はイベント時の挨拶など様々な場面で使う。
市民主体の河川清掃の意義等の情報発信
<ul style="list-style-type: none"> ○水環境や市民主体の河川清掃の歴史、佐賀市のまちづくりの考え方、河川清掃の必要性(効果)等を整理し、ホームページで発信する。

【水対策市民会議】
市民主体の河川清掃の意義の整理と活用
<ul style="list-style-type: none"> ○市(事務局)と共に河川清掃の歴史や市のまちづくりの考え方等を踏まえながら、河川清掃の意義を定型文など市民にわかりやすい形で整理する。 ○整理した河川清掃の意義はイベント時の挨拶など様々な場面で使う。

取り組み中	改 善	新 規
-------	------------	-----

取り組み時期	短期	中期	長期
	○		

具体的な取り組み(案)
河川愛護ポスター・標語の活用、表彰制度の改善
河川愛護の標語・ポスターの入賞作品を多くの市民に見てもらえるよう展示場所や展示方法を検討する。また、河川清掃のモチベーションに繋がるよう表彰者やその活動の周知の方法を検討する。

各主体の役割(取り組みイメージ)

【地域(自治会)】
河川浄化功労者の推薦、地域広報等での周知
<ul style="list-style-type: none"> ○河川浄化活動に功績があった方を推薦する。 ○河川浄化功労者や河川愛護ポスター・標語の入賞者の地元自治会等は、公民館等や地域広報誌等での周知を検討する。

【佐賀市】
河川愛護ポスター・標語と河川浄化功労者の表彰及び既存制度の改善
<ul style="list-style-type: none"> ○河川愛護のポスター・標語の入賞作品の展示場所や展示方法を検討する。 ○河川浄化功労者の活動を通じて、地域の河川清掃のモチベーションの向上に繋がるよう、表彰者やその活動の周知方法を検討する。 ○企業、学校等が単独で実施している河川清掃活動も表彰するべく水対策市民会議の議論を踏まえながら既存の表彰制度の改善を検討する。 ○河川愛護ポスターや標語の入賞者、河川浄化功労者を水対策市民会議と共に表彰する。

【水対策市民会議】
河川愛護ポスター・標語と河川浄化功労者の表彰及び既存制度の改善に向けた検討
<ul style="list-style-type: none"> ○河川愛護の標語とポスターの入賞作品を市と共に表彰する。 ○河川浄化に功績があった方を市と共に表彰する。 ○市(事務局)と共に表彰制度の改善に向けた検討を行う。

【企業等】
展示等の協力（場所の提供）
○河川愛護のポスターや標語の展示について協力をする。 ※多数の市民の利用がある大型ショッピングセンター等を想定

【学校等】
河川愛護の標語・ポスターの応募
○市立小・中学校では、児童・生徒に対し、河川清掃の歴史や佐賀市のまちづくりの考え方、河川清掃の必要性（効果）等を伝えながらポスター等の制作を促す。

取り組み中	改 善	新 規
-------	------------	-----

取り組み 時 期	短期	中期	長期
	○		



課 題	河川清掃参加へのモチベーションの低下
	(1) 多様な考え方の中で、河川清掃参加に繋がる動機付けが弱い。

具体的な 取り組み 水への関心を高める の方向性
市民の水への関心を高めるため、地域や学校、企業等に向けた出前講座等による啓発活動を行う。また、多くの市民に向けては、 <u>イベント等</u> の取り組みを企画し、水や水辺に親しみをもってもらおう。

具体的な取り組み（案）
河川愛護及び河川環境保全等の意識の向上
河川・水路の現状の周知を図りながら、河川愛護及び河川環境の保全等の意識の向上に繋がるようなプログラムと必要な教材を研究・作成する。これらのプログラムや教材を活用する出前講座等を実施する。

各主体の役割（取り組みイメージ）

【地域（自治会）】
出前講座等の活用
○出前講座等を活用し佐賀市の河川・水路の現状を知る。 ○（制度が整った後は）地域における河川愛護及び河川環境保全等の意識の向上を図るため、出前講座等を活用する。

【佐賀市】
河川愛護や河川保全意識の向上に向けた教育プログラム等の研究・作成
○佐賀市の河川・水路の現状を伝えるための出前講座等を実施する。 ○山から海まで水でつながる佐賀市の地勢を踏まえた河川愛護及び河川保全等の意識の向上に繋がるようなプログラムや教材を研究し作成する。 ⇒出前講座のメニューを検討し、利用を呼び掛ける。 ⇒作成したプログラムや教材を活用する出前講座等を実施する。

【水対策市民会議】
河川愛護や河川保全意識の向上に向けた教育プログラム等の検討
○山から海まで水でつながる佐賀市の地勢を踏まえた河川愛護及び河川保全等の意識の向上に繋がるようなプログラムと必要な教材について、市（事務局）と共に検討する。

【企業等】
出前講座等の活用
○出前講座等を活用し佐賀市の河川・水路の現状を知る。 ○（制度が整った後は）従業員の河川愛護及び河川環境保全等の意識の向上を図るため、出前講座等を活用する。

【学校等】
河川愛護や河川保全意識の向上に向けた教育プログラム等の研究協力と活用
○山から海まで水でつながる佐賀市の地勢を踏まえた河川愛護及び河川環境保全等の意識の向上に繋がるようなプログラムや教材の研究に協力する。 ※大学の教育学部等の研究室や学生の協力を想定 ○授業等において市の出前講座等を活用し佐賀市の河川・水路の現状を知る。 ○（制度が整った後は）市立小・中学校においては、市の出前講座の活用を授業に盛り込むなどし、作成したプログラムや教材を活用する。

取り組み中	改 善	新 規
-------	-----	-----

取り組み時期	短期	中期	長期
		○	

具体的な取り組み（案）
水への関心を高める公益的なイベント等を展開
多くの市民に向けて、水や水辺に親しみをもってもらうためのイベント等の取り組みを企画、展開する。

各主体の取り組みイメージ

【地域（自治会・まちづくり協議会）】
水への関心を盛り込んだ地域行事の企画の検討・実施
○既存の地域行事に水への関心を高める工夫を盛り込んだ企画を検討する。 ※川にゴミを捨てないといった要素を取り入れる工夫も検討する。 ※水環境（水のきれいさ等）の学びを取り入れる工夫も検討する。 ※他の組織との協働による事業実施も検討する。
<p>≪地域行事の取り組み事例≫</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども達に対し、川で遊ぶことを禁じる指導がなされる状況を踏まえつつ、まちづくり協議会で、水に親しんでもらうための企画として親子釣り大会を実施したところ地域内外から100名ぐらいの参加があった。

【佐賀市】
民間企画の公益的なイベント等への協力
○広く市民を対象に市民活動団体等が企画する公益的なイベント等について、役割を整理しながらできる範囲で協力を図る。 ※川にゴミを捨てないといった要素を取り入れる工夫を促す。
協働によるイベント等の実施
○市民活動団体などの民間団体との協働事業として水への関心を高めるイベント等に取り組む。
<p>≪協働事業の取り組み事例≫</p> <ul style="list-style-type: none"> 河川愛護意識の醸成を目的に市民活動団体、業界団体、大学サークル、行政の協働事業として松原川のライトアップイベントを開催している。

【企業等】
水への関心を高める公益的なイベント等の検討
<p>○企業の社会貢献活動として、水への関心を高める公益性の高いイベント等を検討する。</p> <p>○既存のイベント等の企画に水への関心を高める工夫を盛り込むことを検討する。</p> <p>※川にゴミを捨てないといった要素を取り入れる工夫も検討する。</p> <p>※水環境（水のきれいさ等）の学びを取り入れる工夫も検討する。</p> <p>※他の組織との協働による事業実施も検討する。</p> <p>≪企画検討の取り組み案≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業の地域貢献活動を自ら企画するのが難しいところは、環境をテーマに活動している市民活動団体の企画力等を活用し、その企業が持つ強みと上手く繋げることで、その企業の独自性が活かされた活動が期待できる。

【市民活動団体等】
水への関心を高める公益的なイベント等の検討
<p>○水への関心を高めるイベント等を検討する。</p> <p>○団体の既存のイベント等の企画に水への関心を高める工夫を盛り込むことを検討する。</p> <p>※川にゴミを捨てないといった要素を取り入れる工夫も検討する。</p> <p>※水環境（水のきれいさ等）の学びを取り入れる工夫も検討する。</p> <p>※他の組織との協働による事業実施も検討する。</p>

【学校等】
水への関心を高める公益的なイベント等の検討
<p>○水への関心を高めるイベント等を検討する。</p> <p>○学校等の既存のイベント等の企画に水への関心を高める工夫を盛り込むことを検討する。</p> <p>※川にゴミを捨てないといった要素を取り入れる工夫も検討する。</p> <p>※水環境（水のきれいさ等）の学びを取り入れる工夫も検討する。</p> <p>※他の組織との協働による事業実施も検討する。</p> <p>※サークルや部活などによる自主的な活動を想定</p>

取り組み中	改 善	新 規
--------------	-----	-----

取り組み時期	短期	中期	長期
	○		

課 題	河川清掃参加へのモチベーションの低下
	(1) 多様な考え方の中で、河川清掃参加に繋がる動機付けが弱い。

具体的な取り組み 限られた水資源を活かすための適正な水管理の実施の方向性
<p>水量の課題については、水利権の問題なども絡み、佐賀市が単独で対応することは難しいが、限られた水資源を環境浄化用水等として市中に上手く行き渡らせられるように関係機関との連携を図りながら適正な水管理に努める。</p>

具体的な取り組み（案）
適正な水管理の実施
水位の調査や水量の実態を把握し適正な水管理を図る。

各主体の役割（取り組みイメージ）

【地域（市民）】
情報の収集
○河川や水路に関心をもち、国や自治体、関係機関等のホームページを見るなど情報を収集する。

【佐賀市】
適正な水管理の実施
○水位の定期的な調査等により水量の実態を把握しながら情報を蓄積し適正な水管理を図る。
○必要に応じてエリアを決めて水流や水量等を調査するなどし、 <u>実態の把握に努める。</u>

【水対策市民会議】
適正な水管理の確認
○提供される情報から適正な水管理が図られていることを確認するとともに <u>必要に応じた提言を図る。</u>

取り組み中	改 善	新 規
--------------	-----	-----

取り組み時期	短期	中期	長期
	○		

体系図

体系 マンパワーの不足に対する具体的な取り組み

課題	具体的な取り組みの方向性	概要		取り組み時期		
				短期	中期	長期
(1) 以前はできていた清掃作業が難しくなった。	元気な高齢者の活躍の場として参加につなげる。 他の地域（自治会）の事例を取り込み様々な世代の参加につなげる	○河川清掃に多様な世代が参加しているような地域の事例を収集し、情報の共有化を図り、地域の活用につなげる。	新規	○		
	イベント的な河川清掃で様々な世代の市民参加につなげる	○地域との関わりが少ない市民に向けて、イベント的な河川清掃を企画し、まずは、河川清掃に慣れてもらうことから始め、少しずつ地域の河川清掃への参加につなげていく。	改善	○		
(2) 協力を求めたい地域の思いと社会貢献をしたい企業等の思いが上手く合致していない。	河川清掃参加に向けたパートナーシップづくり	○河川清掃参加のモチベーションが上がるような仕組みを検討しながら、企業等と行政（市）、企業等と地域（自治会）のパートナーシップの構築を図る。	改善	○		
	河川清掃活動参加に向けた働きかけ	○企業等や学校の地域貢献活動として自主的な「河川清掃」の取り組みが進むよう地域（自治会）と市が働きかける。あわせて、従業員等が居住地域の河川清掃に参加するような社内等での促しも働きかける。	改善	○ ○		

体系 マンパワーの不足に対する具体的な取り組み

課題	具体的な取り組みの方向性	概要		取り組み時期		
				短期	中期	長期
(3) 人集めが上手くいっている地域のノウハウ等が共有できていない。	事例の収集と情報の共有	○地域（自治会）の参考となるよう、人集め等で上手くいっている事例を収集し、これらの情報の共有化を図る。	新規	○		
(4) 人口減を背景にした河川清掃活動における佐賀市の役割が整理できていない。	目的が異なる河川清掃の実態を踏まえた市の役割の再検討	○市街地や農業地域など地域事情による施策の違いを前提としながら、庁内の関係部署で、行政（市）の役割を再検討する。	改善	○		
(5) 地域外の活力がうまく呼び込めていない。	支援の仕組みの検討	○地域外のマンパワーを「人」の確保がままならない地域に呼び込むべく、困っている地域と支援したい人材をつなぐような仕組みを検討する。	新規			○ ○

体系 河川清掃参加へのモチベーションの低下に対する具体的な取り組み

課題	具体的な取り組みの方向性	概要		取り組み時期		
				短期	中期	長期
(1) 多様な考え方の中で、河川清掃参加に繋がる動機付けが弱い。	河川清掃への関心・参加意欲を高める	○様々な場面で佐賀市の水環境や市民主体の河川清掃の意義の周知を図りながら、より多くの市民の注目を集めるべく、既存制度の周知方法等を改善し、市民主体の河川清掃活動への関心を高めていく。	改善	○ ○		
	水への関心を高める	○市民の水への関心を高めるため、地域や学校、企業等に向けた出前講座等による啓発活動を行う。また、多くの市民に向けては、イベント等の取り組みを企画し、水や水辺に親しみをもってもらう。	新規取組中	○	○	
	限られた水資源を活かすための適正な水管理の実施	○水量の課題については、水利権の問題なども絡み、佐賀市が単独で対応することは難しいが、限られた水資源を環境浄化用水等として市中に上手く行き渡らせられるように関係機関との連携を図りながら適正な水管理に努める。	取組中	○		